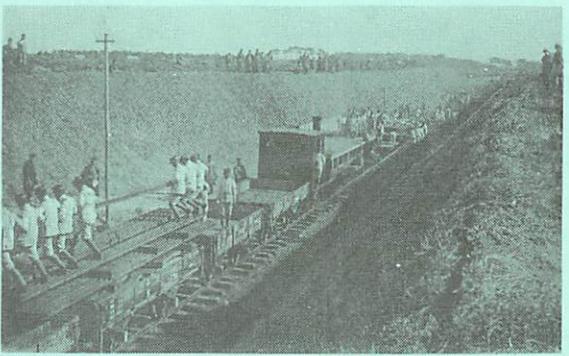


「あとがき」より



「2 銚子遊覧鉄道 銚子遊覧鉄道記念絵はがき」より

大里 健

唐突かもしれ

ないが、昔の銚子半島は開拓時代の北アメリカに似ていると言ったら笑われるだろうか。外輪式蒸気船が上り下りした利根川は、ミシシッピー川。銚子の台地を切り開き敷設した蒸気機関車の銚子遊覧鉄道。南風を

施行七十周年を迎え、同時に本書が出版されるのをうれしく思う。

誌面の都合上、絵はがきを原寸または拡大して用いた。コンパクトサイズであるが写真を見て楽しむというグラフィックなものを志向した。絵はがきは横位置に作られたものが圧倒的に多い。それは風景を中心とした観光絵はがきの特性である。

各章の解説は、自分自身の体験と参考文献に頼った。既成の事実でも銚子以外の読者の為にあえて記述した。更に銚子以外の絵はがきも何枚か加えた。銚子は他所へも影響を及ぼし、他所からも影響を受け歴史を歩んできたからである。(後略)

遊覧鉄道はユニオンパシフィック鉄道。南風を受けとめる断崖の屏風ヶ浦はカリフォルニア海岸。銚子の古い絵はがきを眺め、ふと、そんな幻想を抱く。(略)

「続・銚子の絵はがき」は言わば若き銚子の記録写真集である。くしくも平成十五年に市制が

編著者略歴 大里 健(おおさと・たけし)  
昭和十一年(一九三六)、千葉県銚子市生まれ。  
著書 古きを訪ねるシリーズ①「銚子の絵はがき」

古きを訪ねるシリーズ③

続・銚子の絵はがき 目次

序 元銚子市長 大内 恭平

1 海に働く

防波堤 漁師の磯伝たい 銚子の鯨 利根川口の帰帆 漁師の網干し 銚子観音と漁船 千人塚 水難救済会の活動

2 銚子遊覧鉄道

人車鉄道 銚子遊覧鉄道記念絵はがき11枚

3 県立銚子商業高等学校

第一回卒業式記念 中村栄助校長 大運動会記念 校歌(作詩・相馬御風) 正門と実践室 詩歌 入り絵はがき

4 海の宿・川の宿

大新旅館 高安旅館 吉野屋旅館 林屋旅館 満洲軒 御風館 暁雞館(離れ座敷新座敷)

5 飯沼観音

本堂内陣 御開帳山門 飯沼

山仁王門 御開帳行列

6 東大社御神幸祭

東大社二十一年祭記念絵はがき封筒 東大社 東大社神苑雲井崎眺望 外川浦潮場の風景 東大社遙拝殿 銚子東大社大神幸祭の案内通知はがき

7 特殊絵はがき

立体絵はがき(銚子海岸の風光・銚子胎内窟) 二枚続き絵はがき(犬吠全景・別荘地) 空中より見た犬吠埼灯台 市制記念絵はがき 地図 空から見た銚子市

8 利根川と船

潮来付近の眺め 銚子利根河岸の帆影 利根の帰帆 投網 利根より松屋遊郭を望む 利根の朝 鹿島大船津河岸 波崎より見た利根川 水郷汽船 銚子丸より見た利根川

9 懐かしき風景

犬吠埼灯台下の天然プール 人 力車と犬若仙ヶ岩の遠望 銚子

市街 西明浦の松林 君が浜公園 夢二絵はがき

10 海に鍛える

陸軍士官学校生徒遊泳演習実況 海鹿島海水浴場 外川海水浴場 犬若海水浴場 名洗海水浴場 犬吠と軍艦 戦艦香取 犬若海水浴場(海の遊び)

11 濡つくし

年賀状 ジガミサ醤油浜口吉兵衛 年賀状 ヤマサ醤油 暑中見舞い ヤマサ醤油 ヒゲタ醤油 田中玄蕃庭園(貫丘園) カギダイ醤油 深井吉兵衛 濡つくしと夕日

12 銚子の月

犬吠の月影 利根の夜網 観音と利根川 利根の残月 夫婦ヶ鼻の月 名洗浦夏の月 夜の利根川 利根の月影

13 大漁節

版画 飯岡大漁節 九十九里浜 大漁節 常陸大漁節

「連句文芸賞」へのおさそい

ドシンドシわいわいご応募を

例えば、茶をすするといふ日常の一こまが「茶道」へと高められたように、「連句」は人と人との言葉によるコミュニケーションを文芸にまで深められた共同制作の詩です。人が集まり言葉が発するとき、それを「座の文芸」と言い、手紙や葉書、ファクスや電子メールでコミュニケーションするとき、それは「文音」「郵便的」「電韻」連句なのです。「俳諧の連歌(連句)をルーツに川柳と俳句が生まれ、たくさんの川柳人、俳人らが五七五を楽しんでいます。それで連句の方は瘦せ細ってしまったようですが、そうではありません。いま平成の世に、川柳や俳句、短歌や自由詩のレベルを連句へと還流させる「俳諧ルネッサンス」が文芸史の課題になったのです。「連句文芸賞」は「俳諧」の伝統を受け継ぐ、新しい共同制作の詩を求めています。あなたのグループ作品を世に問うチャンス。「わいわい連句遊び」連句文芸賞への誘いを讀まれて、連句作品をドシンドシわいわいご応募ください。

平成連句競詠会

応募要項は当社刊の「わいわい連句遊び」連句文芸賞への誘い」をご参照ください。

東京文献センター出版目録(価格別)

望岳窓俳漫筆 高木 蒼梧	一、七一五円
「超」連句入門 浅沼 瑛	一、五〇〇円
わいわい連句遊び 平成連句競詠会 代表 上貫夫編	一、〇〇〇円
別所貞紀子 共生の文学 別所貞紀子	一、八〇〇円
妻科の家 田中 冬二	一、七二五円
ほんわか奥多摩四季だより 花森 俊一	一、六〇〇円
古きを訪ねる銚子の絵はがき 大里 健編	一、五二四円
銚子半島の歳事風俗誌 大木 衛	一、五二四円
岬へ行く電車 白土 貞夫	一、八〇〇円
銚子と文学―甦る言葉の海流― 岡見 晨明編	一、〇〇〇円
尹世霖現代中国朗誦詩の世界 金子 總子編	一、九〇五円
「西藏研究」分類目録 熊切 武彦編	一、〇〇〇円
真空管半代記 藤室 衛	一、八〇〇円
趣味馬鹿半代記 酒井 徳男	一、四二九円
俳句半代記 八幡城太郎	一、四二九円
刀剣半代記 新 市郎	一、四二九円
実用そば辞典 植原 路郎	七六二円
古写真、プロマイド、カードで見る大相撲 景山忠弘	一、八〇〇円
世界連句を楽しもう 福田 真久	近刊

大正二年(一九一三)にたった十一日間で敷設された「銚子遊覧鉄道」。前編を凌ぐ九十七枚の絵はがきを新たに収録、検証した続編が完成。旭日の勢いの銚子が、今、ここに甦る。

古きを訪ねるシリーズ③

続銚子の絵はがき

大里健編著

本体 1,800円 (税別)

B6判

東京文献センター

発行・発売 東京文献センター 大里健編著  
古きを訪ねるシリーズ③ 続銚子の絵はがき  
本体一、八〇〇円(税別) ISBN 4-925187-25-2

帳合印

注文

冊

お名前  
ご住所  
電話番号